

「80歳以上高齢者における腹腔鏡大腸切除術の短期成績に関する後ろ向き研究」
へのご協力をお願い

2009年1月1日から2014年12月31日までに当院で大腸手術に対して手術をお受けになられた患者さんを対象として「80歳以上高齢者における腹腔鏡大腸切除術の短期成績に関する後ろ向き研究」を計画しています。研究は高知大学医学部倫理委員会の承認を得て行います。

＜研究の目的＞ 当院外科学教室では患者さんに対する手術侵襲の低減を目的に、積極的に腹腔鏡下大腸手術を導入してまいりました。特に高知県では高齢化が進んでおり、高齢者に対する腹腔鏡手術の安全性を検討していくことは非常に重要であり、得られた情報は今後の治療のあり方を検討する上で重要な資料となると考えられます。

＜研究の方法＞ 2009年1月1日から2014年12月31日までに当院で大腸手術に対して手術をお受けになられた患者さんを対象として、年齢、性別、手術前の身長体重、術前の診断、手術方法、合併症、手術時間などを電子カルテから集積します。

＜個人情報の保護＞ 今回の研究では、年齢、身長、体重など必要な医療情報以外の個人情報 は電子カルテから記録することはしません。また電子カルテから抽出した情報は、パスワードでロックされた媒体に保存します。そして本研究終了後、すべての情報は破棄します。

＜お問い合わせ＞ 本研究に関してお問い合わせがありましたら、

研究責任者：小林道也（高知大学医学部附属病院がん治療センター・部長）

研究協力者：前田広道（高知大学医学部附属病院がん治療センター・特任助教）

電話：088-880-2182（直通） FAX：088-880-2183 までお願いいたします。